

第 51 回安曇野市都市計画審議会 会議概要

- |   |           |  |
|---|-----------|--|
| 1 | 会議名       | 第 51 回安曇野市都市計画審議会  |
| 2 | 日時        | 令和 4 年 11 月 18 日 午後 2 時から午後 3 時 24 分   |
| 3 | 会場        | 安曇野市役所 3 階 議会全員協議会室  |
| 4 | 出席者       | 柳澤吉保会長、栗原定美委員、降旗幸子委員、増田英治委員、<br>岡江正委員、峯村幸男委員、笠井明委員<br>藤本済委員代理：中村均建築課長、唐沢則夫委員 |
| 5 | 市側出席者     | 今吉都市建設部長、横山都市計画課長<br>山田課長補佐、黒岩主査（都市計画課計画係）<br>城取係長、白坂係長、和田主査（都市計画課公園緑地担当）    |
| 6 | 公開・非公開の別  | 公開   |
| 7 | 傍聴人       | 0 人 記者 0 人   |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和 4 年 11 月 28 日   |

協 議 事 項 等

1 会議の概要

1) 開会

2) あいさつ（都市建設部長（事務局代表）、審議会会長）

3) 議事

意見聴取(1) 安曇野都市計画白地地域の容積率制限の変更について

意見聴取(2) 安曇野市立地適正化計画の改定について

報告事項(1) 安曇野市緑の基本計画の改定について

4) その他

(1) 審議会委員の任期について

(2) 次回審議会の開催予定

5) 閉会

2 議事の概要

意見聴取(1) 安曇野都市計画白地地域の容積率制限の変更について

（委員からの意見なし）

意見聴取(2) 安曇野市立地適正化計画の改定について

○ 洪水災害のうち、想定最大規模降雨に関する記載について、「国、県と連携した流域治水におけるハード面での対策を充実させる」と記載しているが、浸水想定については、ハードで何とかしていくというよりも、ソフト対策がメインになってくると思うので、この辺りの表現は、ソフト中心の書き方に変えていただいた方がよいのではないか。

⇒ ソフト・ハード両面で対策をしていく、という方向性で記載を修正、工夫したい。

○ パブリックコメントにあたっての調整とのことだが、会議終了後に事務局に意見を伝えたい場合、報告の期限はあるか。

⇒ 来週中くらいに修正等のご意見があれば事務局へ報告いただきたい。

○ 屋根に設置する太陽光は、ゼロカーボンだけでなく防災面の問題解決にも寄与すると考える。個々の住宅が省エネ型になっていけば、自己の住宅内での避難にも結び付くと思うので、個々人の防災計画や住宅の省エネ化、自立型住宅の推進などの記載を計画に盛り込んではいかがか。

⇒ 個々人の防災計画、マイ・タイムラインの推進については、今回計画で取り組みの事例として取り上げているが、現状値と目標値の設定が困難なため、今回計画での目標設定は見送らせていただいた。今後、5年間で、より具体的な目標に設定できるかを精査、検証していきたい。

住宅の屋根への太陽光パネルの設置については、東京都が義務化、条例制定したということで注目されているが、予算措置的な面でも調整が必要なため、内部で調整させていただく。

#### 報告事項(1) 安曇野市緑の基本計画の改定について

○ 主要道路での並木道の再生について、国道・県道がメインとなる中で、道路管理者が市ではない状況も想定されるが、この点、市の取組はどういった内容をイメージしているのか。

⇒ 並木道については、行政による管理だけで成り立つものではなく、緑化団体、沿道の商工会を含めた、市民の協力が必要であり、行政と市民が協力して緑化を推進させていくイメージである。道路管理者だけで緑化を推進する、というものではないと考えているので、その点ご理解いただければ。

○ 外来種対策については、この計画で触れているのか。  
外来種については環境課の所管かと思うが、緑化にも通ずるところがあると思う。

⇒ 「生き物の生息、種の保存に配慮した緑の育成」という取り組みの中で、アレチウリの一斉駆除の取組を掲げており、環境課と連携しながら緑化につなげていくとしている。

特にアレチウリについては、河川沿いに生息するケースが多いが、農林地、河川区域の樹林の適切な維持管理ということで、保安林の維持管理についても実施に向けた働きかけを進めるとしている。

以上